

令和4年度（2022年度）役員体制（専門部体制）

役 職	氏 名	企業・事業所名	役 職	氏 名	企業・事業所名
会 長（雇用部長）	江 籠 達	㈱アークレイファクトリー	理事（啓発・広報部）	東 川 弘 美	㈱ジーテクト
副会長（雇用部）	松 山 元 彦	㈱コーガイソトープ	理事（啓発・広報部）	畑 山 博 行	㈱滋賀松風
副会長（雇用部）	中 嶋 大 展	甲賀バラス㈱	理事（研修部長）	奥 嶋 たみ子	（社福）信楽福祉会 信楽荘
副会長（雇用部）	澤 井 成 年	ショット日本㈱	理事（研修部）	中 森 俊 光	甲賀農業協同組合信楽支所
副会長（雇用部）	岸 野 幸 廣	住友電工ウインテック㈱	理事（研修部）	小 林 保	甲賀協同ガス㈱
事務局長（雇用部）	北 川 勝 之	甲賀農業協同組合	理事（研修部）	田井中 洋	滋賀交通 ㈱水口営業所
理事（啓発・広報部長）	田 中 健 二	近江鉄道㈱土山サービスエリア	理事（研修部）	上 山 清 和	西川ローズ㈱甲賀事業所
理事（啓発・広報部）	内 田 宏 文	ニッポンロジパック㈱	理事（研修部）	瀬 古 良 夫	大原薬品工業㈱
理事（啓発・広報部）	石 田 一 樹	（社福）甲賀学園	理事（研修部）	高 阪 裕 貴	医療法人社団仁生会甲南病院
理事（啓発・広報部）	山 田 裕 子	（社福）あいの土山福祉会	理事（研修部）	谷 口 佳 枝	㈱滋賀銀行水口支店
理事（啓発・広報部）	木 田 一 志	山一化工㈱滋賀工場	監事	曾 我 三四次	㈱水口テクノス
理事（啓発・広報部）	山 本 英 樹	セキスイボード㈱	監事	相 見 聡	㈱滋賀銀行大原支店



▲講話に聴き入る聴講の会場、Zoom参加者

令和3年度 甲賀市企業人権啓発推進協議会 従業員対象人権研修会が、甲賀市まちづくり活動センター「まるーむ」にて開催されました。

昨年度に続き、コロナ渦での開催であったため、会場とZoomとの同時開催となりました。

「企業経営に求められる今日的な人権課題」というテーマで、一般社団法人おおさか人材雇用開発センター 理事長 井上龍生さんにご講話頂きました。

企業が人権問題に何故取り組むのか、公正採用選考を巡る現状と課題、「差別解消三法」と企業の対応、今日的な人権課題と企業の4項目に分けて話されました。

まず、企業が人権問題になぜ取り組むのか。企業経営の中核に「人権」への取り組み要請の高まりや領域の拡大が人権尊重社会の営みの基本となる。人権を疎かにするといつかは「お客様や社会」の信頼

従業員対象人権研修会（12月14日）開催

を失うと訴えられました。

「今日的な人権課題と企業」では、ワークライフバランスと多様で柔軟な働き方を実現するため労働時間法制の見直しの話をされましたが、昨年よりコロナ渦になり、働き方を変えざるを得なくなりました。コミュニケーションギャップや在宅勤務の働き方に対して評価の平等性が今後の課題だと思いました。

また、新型コロナウイルスの情報が正しく伝わりにくい時期に、コロナ差別が各地で発生していましたが、無知・無関心ではダメ。「何が差別かを理解する」という先生の言葉が改めて、「人権」に対して考えるきっかけになれば良いと感じました。

様々な人権問題は、私たちの社会や生活など身近なところで起きています。人権感覚を高めるのに「知識を得る」「意識を変える」「適切に行動する」という言葉はとても強く印象に残りました。

今回の講話をお聞きし、職場や地域での人権について、改めて考える良いきっかけを頂き、ありがとうございました。



▲熱弁の井上理事長

（㈱ジーテクト 東川 弘美・記）

障害者雇用にかかわる学習・懇談会（11月26日）開催



令和3年11月26日（金）、障害者雇用にかかわる学習・懇談会が開催されました。会場は、学校法人関西福祉学園 働き教育センター甲賀です。

最初に、施設内を見学させていただきました。太陽の光があたたかく降り注ぐ校内で、ビジネスマナーの講義が行われていました。「仕事の指示、アドバイスを受けたとき」というテーマの講義で、生徒の方が、自分の意見をしっかり話されている姿が印象的でした。

また採用する職場で、採用後にしてもらう仕事について訓練を行い、その仕事ができるレベルに達した

訓練生を採用していただくことにより、本人も職場の方も安心して仕事ができ、定着率が高まるということでした。

次に理事長 辻 勝司様の講演を拝聴しました。障害者の方々が就労され定着するのが難しいと言われていました。理由として①就労レベルに達していないのに無理をして就労させしめる。②人間関係、仕事内容、働く環境に対応できない。③就労先の担当者が障害者の個別の特性について理解して指導することが難しい。ということでした。働き教育センターの就職定着率は93%ということで驚きました。それは、就職後本人が、おおよそ65歳になるまで企業の担当者、センターの支援員、ご家族の協力で就職後の問題を解決するという仕組みがあるからということでした。

このようなサポート体制が全国に広まりいろいろな職場で働かれている障害者の方々、いっしょに働かれている職場の方々がいきいきと働ける環境が必要なことを気づかせていただきました。

（（社福）あいの土山福祉会 山田 裕子・記）



▲熱心に受講のみなさま

今年も昨年に引き続き、総会は書面決議対応。特別研修はハイブリッド形式での開催として4月26日（火）会場（まるーむ）とZoom参加で実施しました。

研修に先立ち、昨年12月募集の人権標語入選者の表彰式も実施されました。

講師に大阪企業人権協議会企業人権協サポートセンター長「芝本正明」さんを招き『CSR・SDGsと企業と人権』と題して講演いただきました。

①SDGsとは②企業とSDGs③SDGsの本質は『人権』④企業の人権

対応に関わる国際社会のスタンダード⑤CSR／SDGsから企業の人権取り組みを考える。と分かりやすく分類して説明いただき、

CSR／SDGsから『私の仕事と人権』を考える

・SDGsは「特定の部門が取り組む課題であって、自分の仕事には関係がない」、といった認

甲賀市企業人権啓発推進協議会総会特別研修会（4月26日）開催

識を持っていないか？

↓
仕事の日常は、人の尊厳と人権を考える場面で溢れています

↓
日頃の事業活動、職場運営等の様々な場面で、一人一人が

・人権に「負」の影響を及ぼしていないか
・また、その可能性はないか

に気づき、仕事を地道に問い直すことは、組織への信頼感が増し、企業価値を高めることにもなり、ひいては、CSR／SDGsの達成に貢献することに繋がる。

と締めくくられました。

当日の参加者は会場19名、Zoom38名 合計57名でした。



▲人権標語入選のみなさま